

平成 27 年 11 月 10 日

いしかわ多面的機能発揮推進組織

平成 27 年度より多面的機能支払交付金制度が法制化され交付金が市町から直接交付されるようになり、初めての「多面的機能だより」をお届けします。活動につきましては、これまでと同じ様に各活動組織において農地維持支払、資源向上支払が実施されています。

「農地・水・環境だより」から「多面的機能だより」と名称を新たにして、活動組織から寄せられた 4 組織の活動を紹介します。各組織の構成員の皆さんに、回覧等で広くお伝えいただければ幸いです。

■施設の長寿命化による水路の更新について

奥能登支部【広美会】

若山町広栗地内において、広美会役員及び施工業者、土地改良区、珠洲市産業振興課立会いの下、完成検査に取組みました。

広栗地区は、昭和 50 年代に団体営事業で整備された水路が老朽化し、共同作業で管理するものの漏水箇所が所々で見当たり耕作に支障をきたすようになってきた。平成 23 年度に施設の長寿命化の活動が実施されるようになり、市内でもいち早く要望し、概ね 600 m の水路を 5 ヶ年計画で更新する事となった。

水路は市道の排水も流れ込む水路 BF500 で、住民の施工では難しい為、外注による施工で実施しました。更新計画及び発注設計等は活動組織役員で協力して行い、地元住民が今後の耕作に大きな期待を寄せている。



水路検査状況



完成状況

■符津地区資源保全会の活動

南加賀支部【符津地区資源保全会】

符津地区資源保全会は石川県の南西部、符津町が中心です。霊峰白山を望む木場潟のほとりに広がる農地は 4,978 a あります。活動の主体は符津町生産組合のほか町内会、公民館、婦人会、白寿会(老人会)など対象となる会員は 470 名人にのぼります。

保全会の活動としては

【5月7日小学校田植え】

符津小学校で田植えと稲刈りの体験を行っています。5月7日には泥んこになりながら田植えを楽しんでいました。

【5月9日 草刈り】

定期的な農地の管理としての「草刈り」。これによって景観が一気によくなります。また、みんなで行う作業ですので、親睦も深まります。回りがきれいになると自分の水田もあぜ草を刈ったり、きれいにしようという意識も強くなってきます。

【5月10日植樹祭に向け花壇の植栽】

今年の最大のイベントは5月17日に木場潟で行われた「第66回全国植樹祭」。白山も望める素晴らしいお天気で少し汗ばむほどでした。膝をつかれ素手で土を寄せながら植樹された美智子皇后のお姿に、感動された方も多かったのではないのでしょうか。保全会では昨年造成した3カ所の花壇を植樹祭に向けて整備も行いました。白寿会の皆さんが花壇の除草と花苗の植栽に汗を流してくださいました。

【8月18日水路の整備】

木場潟公園に隣接する水路をきれいにし、景観の整備とともに、安全を確保しました。

【9月14日 小学校稲刈り】

5月に植えた稲を刈り取りました。みんなで稲を運びコンバインで収穫しました。子ども達は笑顔で、稲穂の重みを感じながらも、楽しそうに汗を流していました。



■田んぼの畔に芝桜

小松市の東部山間地に位置し、基盤整備事業を進める中で集落営農組合を立ち上げ、水稻を中心に大麦、大豆の二毛作を取り組んでいます。

原町と桂町は隣同士であり今までも何かと農業経営で協力してきました。本事業も二町が一つの組織として活動を進めています。

営農組合が出来た事により、非組合員の農作業離れが進み農業への関心が低くなってきています。本事業を通して、子供から、高齢者まで町民全体が農業、自分たちが暮らしている郷土に少しでも関心を持ってもらえるように事業の展開をしていきたい。

去年は、基盤整備で2メートル程の高さになった圃場の畦に、防草シートを張り芝桜の植栽をし、圃場の景観向上を図りました。

この事業は町内の役員会で決め、役員を中心に非農家をも含め作業にあたりました。非農家も圃場に入り作業が出来た事は今までにない画期的な事です。これからも本事業を通して、町民の交流を図っていきたい。

南加賀支部【原・桂資源保全会】



■農地維持＋資源向上 花植えについて

県央支部【チーム松根武蔵丸】

松根地区において、子供たちの協力の下、11人が参加し、花植えに取り組みました。

私たち、チーム松根武蔵丸は、ほかの地区の方々とちがっているところが少しあります。私たちの組織は、会長、副会長、会計などの役員が、農業をしておらず、中山間地域直設支払制度にも加入していない人々で運営しています。そのため、色々な作業など、地区のことを考えながら、地区の農業従事者の人々に指導を受けて運営しています。

その一例として、この地区にある青空市場の道沿いに花植えを地区の人々と子供たちの力を借りて作業を行っています。その他には農道の草刈、水路の泥上げなどを行っています。皆様とあまり変わったことを行っていませんが、地区の農業従事者の人々とのつながりを大切にしています。

これからは、私たち役員でこの組織の新たな作業や農業について考えながら、地区の人々の共存を考えていきたいと思っています。



【編集後記】

多面的機能だよりへの原稿依頼を9月にお願いしたところ、多くの投稿をお寄せいただきありがとうございました。紙面の関係で、今回紹介できなかった活動は、次回以降掲載しますので、お待ち下さい。

なお、「農地・水・環境だより」の名称を「多面的機能だより」と改めましたが、原稿はこれまでと同様、お受けしておりますので、引き続き各活動組織からの投稿をお待ちしております。よろしくお願いいたします。

〒920-0362 石川県金沢市古府1丁目197番地 石川県土地改良事業団体連合会内

いしかわ多面的機能発揮推進組織 事務局：角本 雅成

TEL・FAX：076-249-8191

E-mail：ishikawa@shigenhozen.jp